

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工学先端研究特論)

演題: ナノDDSの基礎から臨床応用

演者: 位高 啓史先生

東京大学大学院医学系研究科  
疾患生命工学センター臨床医工学部門 准教授

日時: 2014年6月20日(金)

18:00-20:00

場所: 共用講義室2 MDタワー2階

講演要旨: 生命体を形作るDNA、RNA、タンパク質などの物質は多くがナノオーダーで構造や機能が制御されており、生命現象はこのナノスケールでのイベントである。従って、医学・医療におけるナノテクノロジーの応用は本来必然であると言える。その応用の代表的事例としてドラッグデリバリーシステム(DDS)がある。種々の薬剤を保持し、目的とする細胞や組織を選択的に標的にする、細胞内環境に応答して薬剤を放出させる、といった種々の機能が高分子のナノレベルでの精密分子設計によって実現可能である。本講義では、再生医療や脊髄損傷などへの応用事例を含め、ナノDDSを用いた治療戦略を紹介する。

▶ 整形外科学分野 大川 淳

担当: 榎本光裕・鍋木秀俊

Tel:5803-5279 Fax:5803-5281